

県道松戸草加線の道路陥没事故について(続報) 八潮市独自の補償(利子補給)を決定。県の補償も動き出す。

1月28日、10時頃、埼玉県が管理する県道松戸草加線の八潮市中央一丁目交差点で、老朽化した中川流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故が発生しました。大山しのぶ市長は、事故直後から道路管理者である埼玉県に迅速な対応を要請し、市、草加八潮消防局、警察、自衛隊とも連携して市民の皆様の避難、ライフラインの復旧、行方不明となった運転手の方の救助作業を進めました。

大山しのぶ市長は今回の事故について次のようにコメントしています。「県道陥没事故の被害に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また、市民の皆様におかれましては、避難や道路の通行止め、ライフラインの一時停止、制限等、市民生活の様々な面において多大なご不便とご迷惑をおかけしております。皆様方にはこれまでのご理解とご協力を頂き深く感謝申し上げます。現在、国土交通省、国土技術政策総合研究所、関東地方整備局をはじめ、埼玉県やライフラインを整備する関係機関、工事関係者の皆様と協力し、一日も早い復旧、復興に努めてまいります。今後も市民の皆様が安定した日常生活を取り戻すことができるよう引き続き全力で取り組んでまいります。」引き続き、大山しのぶ市長は県道道路陥没事故の対応に精力的に取り組んでまいります。

<今後の対応について>

■ライフラインの復旧

①県道の陥没事故により八潮市の水道の基幹管路2系統のうち、1系が給水停止、応急復旧しており、現在、仮復旧で2系のみで給水しております。また、草加警察の協力のもと、幹線道路の通行止め、迂回道路の整備、子どもたちの通学路の安全確保をしております。

②八潮市の下水道基幹管路2本は、国・県の協力のもと現在は通常ルートで運用しております。



③大正第一雨水幹線は、陥没事故により崩落。その後、仮設ポンプの応急措置により仮排水施設の整備をし、現在仮復旧しています。

④今年度、市で管理している下水道の汚水幹線が埋設されている道路約14kmの調査を実施してまいります。

■補償

八潮市(市独自で利子補給):補償に関して、埼玉県は第三者機関による原因究明の結果を待たなければ、具体的に動きにくいというのが当時の状況でした。そこで、大山しのぶ市長は、被害に遭われた方々が一日も早く通常生活に戻るため、つなぎ融資を受けた際の金利を市が補助することを決定しました。(詳細は市にご確認ください)

埼玉県:県道道路陥没事故の現場周辺住民や事業者の皆様に対する補償について対象の方々に対して、①補償案及び今後の手続きについて②今後の復旧工事について、8月22日から24日までの3日間、県が説明会を開くとのことです。(詳細は埼玉県にご確認ください)

■再発防止

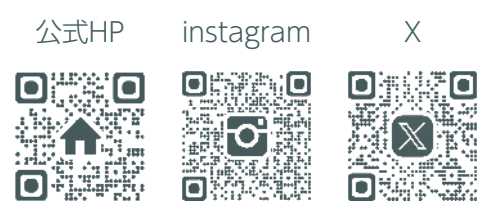
市は汚水幹線の緊急点検や道路の空洞調査に着手しています。大山しのぶ市長は、この経験を国などに積極的に情報提供し、国や県にインフラの老朽化対策に取り組む必要性を訴えていきます。(8月18日記)

Profile 大山しのぶ政策委員長(第13~15代八潮市長)

■昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ ■八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)~草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。■サラリーマンの後、昭和61年から国会議員秘書経験12年。■平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。■平成12年、埼玉県議会議員初当選。(連続4期) ■企画財政委員会委員、緊急経済対策特別委員会委員、八潮市体育協会会長等を歴任。■平成25年13年間務めた県議を辞し、八潮市の再生・発展を目指す市

民中心のグループ「新しい八潮を創る市民の会」政策委員長。
■平成25年9月、第13代八潮市長に就任(現在3期目)。

▶大山市政のこれまでの実績とこれからの政策は大山しのぶ公式HPにて公開中



新しい八潮を創る市民の会 連絡先

皆様のご意見、ご要望等をぜひお聞かせください。
八潮市八潮2-18-8 TEL.048-994-6500 FAX.048-994-6001

新しい八潮を創る 市民の会 NEWS



令和7年8月発行

発行:新しい八潮を創る市民の会ニュース編集部

連絡先:〒340-0815

八潮市八潮2-18-8

TEL.048-994-6500

FAX.048-994-6001

安全・安心・未来のために!

住みやすさナンバー1(ワン)のまちへ

経験と実績を 政策の実現に活かします

政策委員長
(第13~15代八潮市長)
大山しのぶ

大山しのぶ政策委員長(八潮市長)に政策をインタビュー

2020年1月、新型コロナの感染が確認されて以来、日本全国でその対策に注力した結果、様々なところで、計画の遅れや

中止が起きました。コロナ禍が終わりつつあって、八潮市でもそれらを取り戻すため、一斉に進めていた矢先に、本年1月に

八潮市内の県道における道路陥没事故が発生し、現在、並行して、その対応を全力で進めています。

子育て世代が多く住むまちとしてのニーズに応え、さらに子育て支援、小児医療などの充実を図る!

TX(つくばエクスプレス)が開業し、八潮駅が誕生して今年で20周年を迎えました。その間、駅周辺の区画整理事業や治水事業、住居系のインフラ整備にも注力した結果、市外からも人々が集まってきて、八潮市は県内でも指折りの人口増となっています。2025年の4月現在で八潮市の人口は、9万4,000人近くになりました。高齢者も増えていますが、若い方々の流入が多いため、高齢化率が下がっているという、他の多くの都市と比較して、八潮市は珍しいまちになっています。

若い方々が入ってくるということは、子育て世代もいるため、保育所、幼稚園、小児医療という今まで以上の行政サービスが必要になってきます。

これまで少子化対策として入院・通院医療費の18歳まで無料化(令和6年4月開始決定)やこども家庭庁の発足と同

時に、八潮市も『こどもまんなか宣言』を行い、「子どもも親も輝けるまち・やしお」を目指しての取組を進めてきました。

義務教育のレベルアップ、「小1の壁」の解消、安全でおいしい給食の提供など、教育への取組を加速。

今後、教育面での次の目標は義務教育のレベルアップです。これはカリキュラムの充実、個性ある教育の推進など、市独自の先生の加配も含めて、総合的に進めて行きます。語学教育やスポーツなど特色を持つ場合に、それがすべて同じひとつの学校でできるかという無理があるでしょう。そこは子どもたちの個性と特性によって、選択できるようにして、スポーツで伸ばしたい学校は地域のクラブスポーツや民間企業と協力してやる、勉強をもっとやりたいというお子さんにはハイ

今後も保育園・幼稚園、認可保育所などを拡充し、乳幼児医療の充実を含め、子育て支援を利用しやすく、補助を充実するといった取組を進め、地域で子どもたちを見守り、育てていくための全体的な計画をつくり、推進してまいります。

レベルな授業を提供する、語学に特化したいとしたら、そのようなスタッフとカリキュラムを充実させるなど、特色ある教育を選択できる環境を整備します。

また、子育て世代は働き世代でもあるわけですから、次のテーマが、子どもの小学校入学を機に、共働き家庭や一人親家庭で仕事と子育ての両立が困難になるという、いわゆる「小1の壁」問題の解消です。放課後子ども教室、学童保育の拡充を含め、今後、さらに対策を強化させてまいります。これからは子育て家庭に



安全・安心・未来のために！

大山しのぶ政策委員長（八潮市長）に政策をインタビュー

対して、できる限り負担が少なくなるような子育て政策を進めてまいります。

給食については二度と食中毒を起こさな

いよう、衛生管理、食材管理の徹底と安全でおいしい給食の提供へ向けて取り組んでまいります。

現在、学校給食審議会から整備

方法についてセンター方式で1施設2レーンという答申をいただきました。今後は、建設用地取得、基本設計、実施設計に進みます。

活動を支えるために商工会や金融機関などと協力しながらサポートし、産学協同を行政として後押すなど、様々なマッチングを進めることも市として積極的に考えています。中小企業支援や事業承継の取り組み、八潮独自の視点を加えた八潮のブランド認定を充実し、『八潮には素晴らしい商品・企業がある』と内外に発信し、**地元産業の活性化**を強力に行ってまいります。

八潮は今、新しい農地計画を策定しています。八潮には素晴らしい技術を持った生産者がたくさんいます。お互いの技術を発揮できる生産・流通・販売の場をつくるため、市としても**農業を積極的にサポート**してまいります。また、農地は、まちの潤いや防災の空間としての機能も持っています。そのような観点からの整備も進めてまいります。

お年寄りが元気で生き生き暮らせるまちを目指し、健康寿命の延進、交流の場づくりなどを進めます

高齢者・ご年配の方の健康寿命の延進がテーマです。これまでもフレイルサポーターを県内で初めて導入し、「ハッピーこまちゃん健康ポイント」など健康づくりに活かす独自施策も進めてきました。これからもお年寄りの方々には地域包括支援センターを

活用いただくとともに、お年寄りの居場所づくり、健康づくり、交流の場等を整備して、**高齢者が生きがいを持って生活ができるような施策**を進めていきます。

また、八潮市は将来、コンパクトシティを目指すべきと私は考えています。これはお

年寄りが暮らしやすいまちにもつながります。公共交通機関や徒歩で移動できる範囲に生活に必要な施設を効率的に整備し、自家用車への依存度を低減しつつ高齢者の移動の支援を行います。また、インフラ維持にかかるコストを軽減し環境への負荷を減らすことは、持続可能なまちづくりにつながります。市内公共交通網もこのような意識のもとで、**「MaaS：次世代交通サービス」の導入や、市役所・北部地区へのバス路線のハブ機能新設**を進め、より効率的で利便性の高い市内交通網をつくってまいります。

さらには、職住近接を目指して、企業誘致にも力を入れていくつもりです。また、誰もが遊べる**ユニバーサルデザインの公園**を開園しましたが、今後も特色ある公園を各地域に計画的に整備し、「中川やしおフラワーパーク」や「水辺の楽校」などと組み合わせ、市民の憩いの場づくりにつなげていきます。

視野を広げれば、**八潮市は東埼玉道路の起点という地の利を活かす**ことで、さらなる可能性が広がります。昨年2月には『埼玉県東部地域道路交通研究会』が設立され、私が会長に就任しました。これは東埼玉道路の沿線・隣接する八潮市、草加市、三郷市、越谷市、吉川市、松伏町、春日部市で構成し、災害、渋滞対策、まちづくりなどへの施策提言が目的です。まちは定住人



八潮市道路陥没事故について宇田川県議と……

口を増やすだけではなくて、交流人口を呼び込むことで活力が高まります。八潮市としてこのような広域連携を進めることが次の発展につながります。ここでもしっかりとしたリーダーシップを発揮してまいります。

外環道のPAとスマートICの整備も動き出しています。渋滞対策として新交通システムBRT（バス高速輸送システム）等を導入し、東埼玉道路の高規格道路の下に、専用道路を整備し、八潮～レイクタウン～春日部などへ向かう計画で渋滞対策とパーク＆ライドが同時可能になります。レイクタウンと八潮の「道の駅」がつながり広域的な新たな人

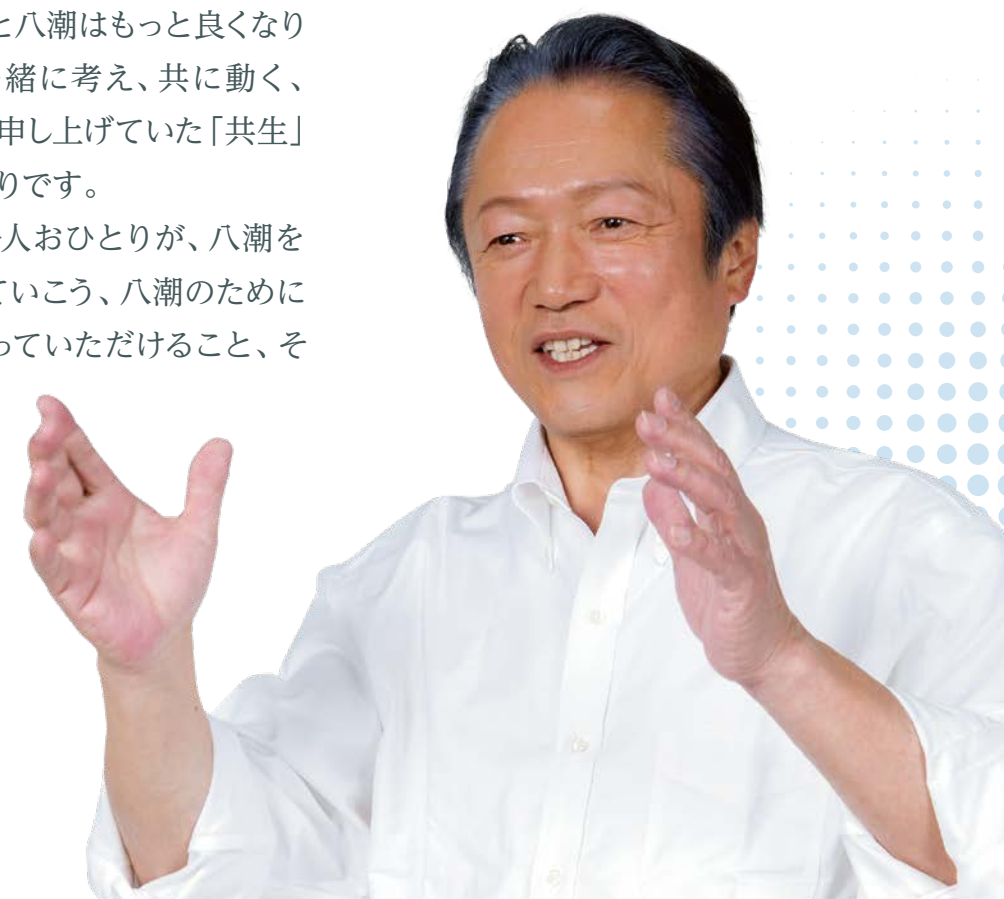
の流れの創出が期待されます。併せて災害発生時には、高速道路を使って八潮PAや「道の駅」に物資を入れることで、防災拠点としての機能を持たせることができます。

これからの重要事項として、**地下鉄8号線（東京メトロ有楽町線）の延伸**があります。これが実現すれば、八潮市には東西のTXと南北の地下鉄8号線という鉄道、スマートICによる道路という2つの交通網を持つことになり、東京都と隣接する「都県境」にあるという利点、八潮市のハブとしての重要度は高まり、市の魅力・活力が大きく花開きます。しっかりと国に働きかけていきます。

「住みやすさナンバー1のまち」の実現に全力を尽くす！八潮に生まれ、育ち、暮らす、その誇りを感じられるまちに。

まちづくりの原点は人です。「まちづくりは行政がやる」という一方通行だと、うまくいきません。「みんなで協力しよう」「自分たちで率先してまちをよくしよう」という気持ちを持っていたけると八潮はもっと良くなります。そのために一緒に考え、共に動く、それが私が当初から申し上げていた「共生」と「協働」のまちづくりです。

市民の皆様、お一人おひとりが、八潮を愛し、八潮を良くしていこう、八潮のために何かしていこうと思っていただけること、そして、同時に**八潮に住むことのシビックプライド**を持っていたけること、それこそが「住みやすさナンバー1（ワン）のまち」なのです。皆様とともに「ここで育ってよかった」



大山市長に託します！私の想い、みんなの願い。



小櫃 陽菜さん
（大学生）

いつまでも賑わう八潮であるように

コロナが落ち着いてから、夜市や市民祭りなど皆で集まれるイベントが再開されるようになり、活気を取り戻してきたことが嬉しいです。今後も賑やかなまちであるように願っています。



関 千鶴さん
（飲食店勤務）

公園の整備が着々と進む八潮市

中川やしおフラワーパークの駐車場と広場が区分けされたので、車の往来を気にせず利用できるようになりました。八潮は公園の整備が進んでいます。自然に親しめる憩いの空間をさらにお願いします。



藤波 光子さん
（主婦）

健康づくりに役立つこまちゃんポイント

健康診断の受診や散歩でポイントが貯まる「ハッピーこまちゃん健康ポイント」は健康習慣への良いきっかけになりました。このように楽しみながら健康づくりができる事業をさらにお願いいたします。



加藤 順秀さん
（会社経営）

健全な心身を育む教育を子どもたちに

48年ぶりに小学校が新設されるほど児童が増えたのですね。教育に力を入れている大山市政のもとで、未来の八潮を担う子どもたちにさらに素晴らしい教育ができるよう、期待しています。



鈴木 俊一さん
（会社経営）

より一層の備えで 強固な防災計画を

防災関連の設備や訓練の機会が増えて喜ばしく思います。防災意識の喚起を強化して、発災時に誰も取り残さず、避難時に皆が互助できるような計画づくりに引き続き注力してください。



酒井 伸規さん
（不動産業）

通勤やレジャー、さらに便利に！

つくばエクスプレスの快速が利用可能になり、朝には八潮が発の便も増えたことで、通勤や行楽の利便性が向上しました。八潮に住みたい人がさらに増えるような施策をお願いします。

「新しい八潮を創る市民の会」へのご意見や政策要望は大山委員長が担当します。皆様からのご意見をお待ちしています。

【順不同】